

ベリーズ犯罪等発生状況（令和5年10月分）

〔殺傷事件関連〕

10月7日（土）〔銃撃事件〕 午前3時頃スタンクリーク郡ダングリガ町リバーサイド通りにおいて自転車に乗っていた男性が何者かによって複数回銃撃され、重傷を負った。警察はギャング組織が関与した事件として捜査中と報道されている。

10月7日（土）〔銃撃事件〕 午後10時頃トレド郡プンタゴルダ町ウエスト通りにおいて通りを歩行中の男性がバイクに2人乗りで近づいてきた迷彩服を着た男2人に銃撃され、重傷を負った。

10月13日（金）〔銃撃事件〕 午後6時頃ベリーズシティ市セントマルティンデポレス地区において停車した車に近づいてきた男に複数回銃撃され、運転手の男性は車でその場から逃走した。その後被害にあった車が発見されたが、運転手の男性の行方は不明である。警察はギャング組織同士の抗争による事件として捜査中と報道されている。

10月19日（木）〔銃撃事件〕 午後8時頃ベリーズシティ市ラスト通りにおいて歩行中の男性が近づいてきた男に複数回銃撃され殺害された。犯行現場が危険地域であることからギャング組織の関与が疑われていると報道されている。



大使館注目事件

10月23日（月）〔銃乱射事件〕 午前零時過ぎベリーズ郡サンペドロ町サンペドリーノ地区において帰宅途中の男性5人、女性1人、女兒（3歳）1人の計7人がマングローブ林地帯から現れた2人組の男らによって60発もの銃弾によって銃撃され、女兒を含む3人が死亡、4人が重傷を負った。犯人達は被害者グループを計画的に待ち伏せしていたと推測されており、警察は麻薬の利権争いによるギャング組織が関与した事件でとして捜査中であると報道されている。

同地域は世界的リゾート地であるが、昨年にも夜間に銃乱射事件が発生しており、米国人観光客が巻き添えとなり殺害されているため、特に夜間の外出には注意が必要である。

〔強盗事件関連〕

10月9日（月）〔銃器使用強盗事件〕 午後8時頃ベルモパン市郊外アグア・ビバ地区において自宅庭にいた男性2人が突然現れた武装した4人組の男達に襲撃され、敷地内に駐車

していた車を強奪された。その後、被害者男性 2 人は強奪された車に向かって所持していた銃を発砲し、強奪された車は近くの木に衝突し停車した。犯人達は車から出て近くの茂みに逃走したと報道されている。

10 月 13 日（金）【侵入強盗事件】 午前 9 時頃ベリーズシティ市オレアンダー通りの住宅において侵入強盗が発生したとの通報を受け駆けつけた警察官により、天井裏に隠れていた 4 人の男を拘束した。拘束された 4 人のうち 17 歳が 1 人と 15 歳が 2 人の 3 人が未成年者であったと報道されている。

10 月 15 日（日）【銃器使用強盗事件】 コロザル郡コロザル町 4 番通りの日用品店において武装した男が店に近づいてきたことを察知した店主の男性が店から逃亡した際、男から発砲されたが無傷であった。その後、警察へ通報し、警察官と共に店へ戻ったが店内から盗まれた物は無かったと報道されている。

10 月 20 日（金）【銃器使用強盗事件】 午後 8 時頃ベリーズ郡ラ・デモクラシア村の日用品店において客を装い店内に侵入した武装した 3 人組の男達が銃で店員を脅迫し、店の売上金 2500BZD と携帯電話数台を強奪し、その場から逃走した。

10 月 24 日（火）【武器使用強盗事件】 ベリーズ郡ハッティ村の養豚場において農場主の男性と従業員の男性 2 人が何者かにより刃物や鈍器等で殺害されているのが発見された。警察の捜査により 2 人の男が強盗殺人の容疑で指名手配されたと報道されている。

10 月 25 日（水）【銃器使用強盗事件】 正午頃ベリーズ市フェーバーズ通りの日用品店において武装した 2 人組の男が店内に押し入り、従業員を銃で脅迫して店の売上金と商品である携帯電話、貴金属等の合計 4300BZD 相当を強奪し、その場から逃走した。

10 月 29 日（日）【銃器使用強盗事件】 午前 3 時 30 分頃カヨ郡のチアル農場において警備員が敷地内を定期巡回中に侵入者 2 人と遭遇し、犯人らが所持していた銃で脅迫されたが警備員も所持していた銃で応戦して銃撃戦となり、犯人らはその場から逃走した。警備員は重傷を負った。

【麻薬密輸、違法銃器等関連】

10 月 4 日（水）【麻薬関連】 ベリーズ郡レディビル村の住宅において警察の捜査により、自宅に覚醒剤 46 グラム相当を所持していたとして中国人実業家の男が規制薬物所持の現行犯で逮捕された。また、自宅内にいたホンジュラス国籍である男の妻も不法入国者であるこ

とが判明したため、拘束された。

10 月 8 日（日）**【違法銃器関連】** 午前 11 時 30 分頃ベリーズシティ市セント・マルティン・デ・ポレス地区のジャスミン通りとハート通りの角にある空き地においてビニール袋に入った 9 ミリ経口のピストル 1 丁と実弾 6 発及び発砲時の音を消すためのサイレンサーが警察によって押収された。押収時、周囲に人影はなく、犯人及び使用目的は不明であると報道されている。

10 月 16 日（月）**【違法銃器関連】** ベリーズ郡アンバーグリスキー地区の北部海岸において警察の捜査により布袋の中に入った M16 アサルトライフル 1 丁と 23 発の実弾が装填された弾倉 1 個が押収された。同地域は地元のギャンググループの縄張りであるため、ギャング組織との関連性を視野に捜査中であると報道されている。

10 月 16 日（月）**【不法入国関連】** カヨ郡サンイグナシオ町ベンケビエホ通りにおいて巡回中の警察官によって停車されたトラックの荷台から非正規移民者のトルコ国籍者 18 名が不法入国罪で拘束された。トラックの運転手は警察官の隙をつき近くの茂みに逃走した。トラックはグアテマラとの国境を通過して違法にベリーズに入国したと報道されている。

10 月 17 日（火）**【麻薬関連】** 午前 11 時頃ベリーズシティ市郊外キャットフィッシュ通りの住宅において警察の捜査により、米国人移民者の自宅内の金庫の中から 1.3 キログラム相当のマリファナが押収され、男は規制薬物供給目的の罪で現行犯逮捕された。

10 月 20 日（金）**【麻薬関連】** 午前 10 時 30 分頃ベリーズシティ市ベラマ地区の住宅において警察の家宅捜査により、袋に小分けにされたクラシックコカイン 1.37 キログラムが押収され、住宅内にいた男 5 人が規制薬物供給目的の現行犯で逮捕された。

10 月 24 日（火）**【不法入国関連】** グアテマラよりベリーズとの国境沿いを流れるモパン川の土手を通してベリーズへ不法入国したエクアドル人の男 1 人と女 2 人がハッティ村付近の検問所にて旅客バスに乗っていたところ入国に関する書類を提示できなかったため不法入国者として拘束された。3 人はベリーズを経由し、米国へ向かっていたと報道されている。

10 月 31 日（火）**【違法銃器関連】** 午後 7 時 30 分頃ベリーズシティ市ウィルソン通りにおいて巡回中の警察官の捜査により通りを歩行中の男 2 人と女 2 人の 4 人組の所持品検査を行ったところ、実弾が装填された小型拳銃を違法所持していたとして 4 人とも現行犯逮捕された。逮捕された 4 人のうち 3 人が未成年者であり、男 2 人はギャング組織との関連性

があると報道されている。

[その他事件・事故関連]

10月2日（月）**[人種間の土地争い]** アフリカ系住民が多いトレド郡イエメリグローブ村と隣接するマヤ系住民が住むラグナ村との間で土地所有権について争いが起きたため、騒動沈静化のため警察が出動した。騒動の原因はイエメリグローブ村が新たに開拓した土地をラグナ村が所有権を主張している土地であったため、住民同士がナタ等で威嚇し合う騒動となった。

10月16日（月）**[盗難小型飛行機墜落事故]** 午前3時頃スタンクリーク郡プラセンシアロード沿いのプラセンシア飛行場付近において、敷地内に侵入した4人組の武装した男達によって保管されていたマヤアイランド航空社の小型旅客飛行機が強奪された。その後飛行許可の無い盗難小型プロペラ機が離陸しようとした際に空港付近へ墜落したのち炎上し、駆けつけた消防隊の消火活動後、残骸からベネズエラ人とアルゼンチン人2名の焼死体が発見された。

10月17日（火）**[偽医療薬品の流通問題]** ベリーズ保健福祉省の調査により、国内にジョンソン・アンド・ジョンソンの製品に似せたタイレノールが流通していることが判明した。偽医療品が流通した原因は国内の認可を受けた医療品販売業者からではなく、密輸入された物が何者かによって各販売店に持ち込まれたとされており、現在、偽医療薬品の回収を行っているが、政府は認可された販売業者からのみ医療薬品を購入するようにと国民に対し注意喚起が行われたと報道されている。

10月24日（火）**[学校爆破予告]** 午前9時頃カヨ郡サンイグナシオ町ジョセフアンドリュース通りのセイクリッドハート大学において何者かより学校を爆破するとの脅迫電話があり、ベリーズ国防軍爆発処理部隊が現場を捜索する間、校内より学生と職員は一次待避した。捜索の結果、校内から爆発物は発見されなかったと報道されている。

10月27日（金）**[米国・フロリダでの大型ヨット窃盗容疑者を万引きで逮捕]** カヨ郡サンペドロ町のスーパーマーケットにおいて3人組の米国人が万引きの容疑で逮捕された。3人はアンバーグリースキーの東海岸沖に停泊させベリーズへ不法入国していた。さらに本年9月に米国フロリダ州フォートローダーデールの港から大型ヨットを盗んだ容疑で指名手配中であり、その後カリブ海の数カ所に寄港し35日間逃亡していたことも判明したと報道されている。